千　歳　民　報（月～土）2016 年 6 月 3 日（金曜日）1 面

札幌空輸が物流センター起工式

生鮮品輸送の中継拠点へ

千歳市内の貨物自動車運送事業、札幌空輸（鳥瀬節夫社長、資本金1000万円）は1日、市内流通1の千歳流通業務団地で物流センターの起工式を行った。本社機能を含めて豊里から移転する。

同社は市有地約5577平方㍍を賃借し、鉄骨造り平屋延べ821・8平方㍍の物流センター（倉庫、事務所）を建設する。

起工式には同社と工事関連の関係者、山口幸太郎千歳市長ら約35人が出席。工事の安全と社業の発展を祈願した。

同社は1990年4月設立の生鮮品物流業。新設する物流センターは航空機やフェリーで到着する海外の鮮魚、切り花などの輸入品、国内の魚介類、青果などを道内主要都市の市場まで輸送する中継拠点となる。

起工式でくわ入れなどを行い工事の無事を祈った鳥瀬社長は「念願の物流センター建設の日を迎え、喜びもひとしお。作業の効率化と、冬季間も安定した商品管理ができる」と述べた。

物流センターは10月31日に竣工（しゅんこう）する予定。11月5日の稼働開始を目指す。

起工式でくわ入れをする鳥瀬社長

物流センターの完成予想図